

# 「家」への夢を 聞かせてください

～親子三代、受け継がれる「家づくり」への思い～

有限会社柴木材 柴 友規さん



「コロナ禍でおうち時間が増えたことで、改めて「心地の良い住まい」が求められるようになり、注文住宅の需要は増加しています。そのなかで、岐阜市春日町の有限会社柴木材は「家」のことは知りたいけれど、人との接触はできるだけ」というお客様の気持ちにいち早く応えるべく「バーチャル見学システム」を立ち上げました。

今月号では、社長柴孝司さんの次男で営業担当の柴友規さんにその取り組みについて、また創業時から家族で繋いできた家づくりへの思いや将来像などをお伺いしました。

## 「外」から見た家業のよれ

柴木材の創業は昭和二十五年。友規さんの祖父春三さんが製材所としてはじめた事業を父孝司さんが建築業へと受け継ぎ、今に至ります。友規さんは、幼いころから祖父や

父がお客様と家づくりをする姿をずっと間近で目にしてきました。モデルハウスを見に行くことも大好きで、「家づくり」というものを常に身近に感じていました。

そんな思い出や興味は薄れることなく、大学卒業後は自然と住宅業界、ハウスメーカーに就職。いつかは家業に従事するという将来像はおぼろげながらも描いていました。

ハウスメーカーでは七年、営業としてさまざまな経験を積んでいきました。その中で、ある点が家業と大きな違いがあることに気が付きました。

「ハウスメーカーには決まった規格があり、お客様にはある程度その中でご要望をお伺いしていくことになれます。私が子どもの頃から接してきた「家づくり」とはそこが大きく違

うのだと分かりました」

友規さんの脳裏には、祖父や父の姿が浮かんでいました。

「柴木材の規格は「お客様の声」です。お客様と打ち合わせを繰り返し、要望に対してできる限りNOではなく、叶える方法を提案し、夢が実現に近づけるよう丁寧に行っています。祖父も父もそんな家づくりに努めてきました」

そして、やはり自分もそんな家づくりがしたいと、家業を継ぐことを決意しました。

家業は、社長である父とすでに家業に従事していた兄、ベテランの職人二名、そこに友規さんが加わりました。友規さんは主に営業としてお

新型コロナウイルス感染の拡大によりイベントは実施できなくなっていました。友規さんは何かいい方法はないかと模索するなかで、茨城県にある工務店のホームページに、モデルハウスの360度WEB内覧システムを見つけました。

「システムの臨場感に驚愕し、うちでも導入したいとすぐに社長に提案しました。しかし『ネット上では、お客様の捉え方によって随分違う、うちの細かな想いや質感がしっかりと伝わらない』と反対されました。それでも、コロナ脱却はもちろん、今後デジタル化していく社会においてネットは欠かせない仕組みであり「バーチャル見学システム」の導入は必須だと熱を込めて説得。持続化補助金による費用補助もあり、社長の許可を得ることができました。

すると、お客様からは「色々な角度から家を確認することができ、見学した家の臨場感を味わえて、自分の建てたい家もイメージしやすくなった」物件を隅から隅まで見せてくれるからこそ、家づくりへの自信と誠実さを感じた」などと反応は上々。商談時にお客様とイメージ共有するためのツールとしても大いに活用できるなど、さまざまなプラス効果も生まれています。



「バーチャル見学システム」のイメージ画像を確認する友規さん

「特にこれから家づくりを考える若い世代はデジタルに慣れている方が多く、これまでに以上に情報発信や建築工程でデジタルを活かした家づくりが主流となっていくと思います。しかしデジタル化は利便性が高まる反面、お客様との接点が減り、お客様に寄り添った家づくりと相反する方向に向かってしまう危険性も孕んでいます」

「特

ってきた「柴木材の家づくり」を、ネットを活用して情報発信していきたくと考えています。第一歩として導入した「バーチャル見学システム」に続いて、先日「イメージ動画」による情報発信を開始しました。この動画も好評でお客様からのお問い合わせも着実に増えていきます。

「今後は、このようなネットなどの情報発信も活用しながら、お客様の夢見る『ご家族、とくにお子様』が笑顔で健やかに過ごせるような家』をつくっていききたい。その想いに共感してくれる仲間を育て、柴木材らしさを繋いでいきたい」と、将来像を思い描いています。

創業以来、家族で三代繋いできた柴木材の家づくりの基となるもの。それは「お客様の夢をかなえる」こと。「父である社長からは『人の気持ちに常に変化する。だからこそお客様の想いをしっかりと汲み取るように』と常々言われてきました。いずれ三代目となる兄や仲間と共に『一人のお客様にできる限りの時間と手間を会社一丸で費やす』。これが柴木材らしさだと信じ、ぶれることなく守っていきます」

お客様との窓口を担っています。前職とは大きく異なる小さな組織ではありますが、家づくりの川上から川下まで（製材・設計・建築）すべてを自社で賄うことのできるという大きな強みを持っています。また家族経営だからこそ、ストレートに厳しいことも言い合えます。「職人気質で現場に厳しい父と兄との意見の衝突はしばしばありますが、私が入り緩衝材になったのか、親子3人バランスが取れた結束のあるチームになっているような気がします」と、笑顔で語ります。

## コロナ禍がデジタル活用の転機

柴木材にとって、完成見学会や内覧会は、お客様に直接自社の想いを伝える大事なイベントです。しかし、

時代に沿って、想いを伝える方法は変化したとしても、この「お客様の夢を叶える」という「ぶれない軸」は、兄と弟の二人の跡継ぎによって大切に継承されていきます。



### 有限会社柴木材

所在地 岐阜市春日町2-40  
 TEL 058-251-9325  
 FAX 058-251-4532  
 営業時間 8:00~17:00  
 定休日 日曜 祝日 第2・第4土曜  
 URL https://www.shibamokuzai.jp/